



☀ 鹿島の海岸で化石などの観察を行いました

3月の化石プログラム初級では、鹿島町の海岸(熊瀬)で地層や化石などの観察を実施しました。天候にも恵まれ、現地では今から約8000万年前の力キが集まっている「力キ礁」をはじめ、いろいろな化石や岩石を観察することができました。

☀ CTデータを使った研究の体験を行いました

近年、医療用・工業用のCTスキャナーを使って化石を調べる研究が盛んになっており、甌島産の化石の研究でもCT技術が活用されています。3月の化石プログラム中級では、実際に甌島産の恐竜化石を昨年6月にCTスキャンしたデータを使い、岩石中に埋まった化石を観察したり、化石の外形を復元したりする体験を行いました。

☀ ボルダリング設備の運用を開始しました

3階の多目的ホールにボルダリングウォールを設置し、3月20日から運用を開始しました。甌島の化石や断崖をモチーフにしたオリジナルの設備になっています。併せて、スラックラインも設置しています。ご興味のある方は、ぜひお越し下さい。

☀ 化石ストラップ作りを行いました

4月の化石プログラムでは、お湯で自由に形を変えられるプラスチック粘土と化石の型を使って、化石ストラップを作成しました。レプリカ作りを通じて、アンモナイトの殻や恐竜の歯などの形、歯の形と食べ物や食べ方との関係について学びました。次回は、鹿島町内の街歩きを予定しています(雨天時は、館内で別の企画を行います)。

☀ 5月4日に開館1周年記念行事を実施します

開館1周年記念イベントを開催します。午前は真鍋先生の講演会、午後は体験イベントを予定しています。当日は入館無料となっており、地域の方に出店等もお願いしています。ぜひお越し下さい。



写真1 鹿島町の海岸で、地層や化石などを観察している様子。

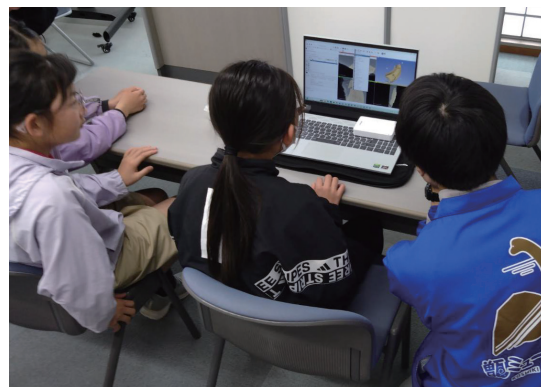


写真2 山下学芸員が発見した肉食恐竜の歯のCTデータをパソコンで解析する体験。



写真3 博物館3階多目的ホールに設置されたボルダリングウォール。



写真4 プラスチック粘土を使い、化石のレプリカを作成する子どもたち。